



2018年6月27日
L18J005

ランドローバー、初めてのプラグイン・ハイブリッド(PHEV)モデルを
「RANGE ROVER」、「RANGE ROVER SPORT」に導入
2018年6月27日(水)より予約受注開始



「RANGE ROVER (PHEV)」



「RANGE ROVER SPORT (PHEV)」

※画像は欧州仕様車です

ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:マグナス・ハンソン/Magnus Hansson)は、ラグジュアリーSUV「RANGE ROVER」とプレミアム・スポーツSUV「RANGE ROVER SPORT」のラインアップにプラグイン・ハイブリッド(PHEV)モデルを追加し、2018年6月27日(水)より、全国のジャガー・ランドローバー・ジャパン正規販売ディーラーネットワークにて予約受注を開始します。

今回、ランドローバーに初めて導入するPHEVシステムは、INGENIUMガソリン・エンジン(最高出力212kW/300PS)と高出力のモーター(最高出力85kW/116PS)を併用するパラレル・ハイブリッドです。INGENIUMエンジンとモーターの両方を合わせた最高出力は297kW/404PS、最大トルクは640Nmを発揮し、0-100km/h加速は「RANGE ROVER」で6.8秒、「RANGE ROVER SPORT」で6.7秒を記録し、最高速度はそれぞれ220km/hに達します。同時に、NEDC(New European Driving Cycle:新欧州ドライビング・サイクル)における燃費は両モデルともに2.8L/100km、CO₂の排出量は64g/kmに低減し、パフォーマンスと高い効率性を兼ね備えています。

機能性と快適性を高次元で統合しているため、モーターとガソリン・エンジンがシームレスに切り替わり、低速域や滑りやすい路面でもスムーズなハンドリングを提供します。走行モードは、状況に合わせて、パラレル・ハイブリッド・モードとEVモードから選択できます。パラレル・ハイブリッド・モードには、バッテリーの充電レベルが設定値以下にならないように走行する「セーブ機能」、ナビゲーション・システムに目的地に入れルートを設定すると、目的地までの高低差のデータを活用しモーターとガソリン・エンジンを最適に切り替えて、エネルギー効率を高める「エネルギー最適化予測(PEO: Predictive Energy Optimization)機能」を備え、安心して効率よく走行します。そして、モーターのみで走行し、ゼロ・エミッションを実現するEVモードでは、ラインアップのなかでも最高レベルの静粛性を確保しており、航続距離は最長51km(フル充電された状態での走行)を誇ります。

さらに、車両が充電中であれば、エアコン時の電力をケーブルから供給することで、車両側のバッテリーを消費することなく車内の冷暖房機能を起動でき、車内に乗り込む前に快適な空間を用意することができます。200Vの普通充電に対応しており、ご家庭でも公共施設や商業施設のどちらでも充電することが可能で、充電ポイントは洗練されたデザインを損なわないよう、フロントグリルに配置しています。

さらに、標準装備のスマートフォン向けアプリ「リモート」を活用することで、車両の充電状況を確認したり、充電するタイミングを調整したりすることが可能です。



<「RANGE ROVER (PHEV)」, 「RANGE ROVER SPORT (PHEV)」概要>

■ 予約受注開始日

2018年6月27日(水)

■ 主な特長および装備

- INGENIUMガソリン・エンジン(最大出力212kW/300PS)と高出力モーター(最高出力85kW/116PS)を併用するパラレルハイブリッドシステムを搭載
- エンジンとモーター両方を合わせた最高出力は297kW/404PS、最大トルクは640Nmを発揮し、0-100km/h加速は「RANGE ROVER」で6.8秒、「RANGE ROVER SPORT」で6.7秒、最高速度はそれぞれ220km/hを記録
- ランドローバー伝統のAWDシステムと最先端の電動化技術をモーター内蔵型8速オートマチック・トランスミッションに採用することで、シームレスに統合
- NEDC(New European Driving Cycle:新欧州ドライビング・サイクル)における燃費は「RANGE ROVER」「RANGE ROVER SPORT」ともに2.8L/100km、CO₂の排出量は64g/km
- 2種類の走行モードから選択が可能
 - <パラレル・ハイブリッド・モード>
 - セーブ機能: バッテリー消費を抑えて走行
 - エネルギー最適化予測(PEO: Predictive Energy Optimization)機能: ナビゲーション・システムに目的地を入力ルートを設定すると、目的地までの高低差のデータを活用し、モーターとガソリン・エンジンを最適に切り替えてエネルギー効率を高め走行
 - <EVモード>
 - エンジンを停止し、モーターのみでゼロ・エミッション走行
 - EVモードでもランドローバーが誇る高い走破性を発揮
 - 最大航続距離は51km
- 専用スマートフォンアプリ「リモート」の活用
 - 充電量と車両のステータス(充電率、充電時間、予測航続距離、ドアの施錠・解錠など)が確認可能
 - 充電の開始と終了を遠隔操作
 - エアコンを起動し、事前に車内温度の調整が可能
- 普通充電に対応した、2種類の充電方法
 - 車載充電ケーブル(モード2): 付属のケーブルを介して、EVまたはPHEV向けコンセントで充電
 - ケーブル一体型充電器(モード3): ホテルやショッピングセンターなどに設置されているケーブル一体型の普通充電器で充電
 - フロントグリルに格納された充電ポイント





■ 「RANGE ROVER (PHEV)」メーカー希望小売価格(消費税8%込み)

モデル名	価格
RANGE ROVER VOGUE (PHEV)	15,080,000円
RANGE ROVER AUTOBIOGRAPHY (PHEV)	17,800,000円
RANGE ROVER VOGUE LONG WHEELBASE (PHEV)	15,730,000円
RANGE ROVER AUTOBIOGRAPHY LONG WHEELBASE (PHEV)	18,360,000円
RANGE ROVER SVAutobiography (PHEV)	28,660,000円

※保険料、消費税を除く税金、登録に伴う費用、付属品、リサイクル料金は含みません。

■ 「RANGE ROVER SPORT (PHEV)」メーカー希望小売価格(消費税8%込み)

モデル名	価格
RANGE ROVER SPORT HSE (PHEV)	11,850,000円
RANGE ROVER SPORT HSE DYNAMIC (PHEV)	12,420,000円
RANGE ROVER SPORT AUTOBIOGRAPHY DYNAMIC (PHEV)	13,150,000円

※保険料、消費税を除く税金、登録に伴う費用、付属品、リサイクル料金は含みません。

以上

Land Rover ウェブサイト : <http://www.landrover.co.jp>
YouTube : <https://www.youtube.com/user/landroverchanneljp>
Facebook : <https://www.facebook.com/LandRoverJapan>
Twitter : <https://twitter.com/LandRoverJPN>
Instagram : <https://www.instagram.com/landroverjpn>

◆お問い合わせ先◆
ランドローバーコール(フリーダイヤル)0120-18-5568
(9:00~18:00、土日祝日を除く)